

# ぶちらいふ

## らいふ萩園通信

2005.冬 Vol.2

らいふ萩園収穫野菜



らいふ萩園 居宅介護支援センター  
事務所番号 1472401213  
ディサービス らいふ萩園  
事務所番号 1472401064

### らいふ生活人

ライフインタビュー②  
森義秋さん



今年秋の敬老祭は、ボランティアの方たちもみえ、さまざまの催しがありました。その中ひとときわ皆さんの心を打ったのが、らいふ萩園を利用されている森さんの『浜降り甚句』でした。そこで今号は、高田にお住まいの森義秋さんに、浜降り祭にまつわるお話をうかがうことにしました。



若かりし頃の森さんと娘さんです。粋でかつこい！

写真は二十四年前、娘さんと一緒に熊野神社の神輿を担いだときのものだそうです。森さんは終戦前から子供神輿を担ぎ、三島神社の神輿以外はほとんど担いだことか。『浜降り祭は私の青春のすべて、自分そのものだった』というほど祭り好きだそうで、浜降り祭が終わっても9月・10月に誘ってもらい、担いだそうです。

「高田の熊野神社では、子供神輿が五十年ぐらい前に、大加で、ようやく浜降り祭に参り、西久保の神輿は重く、南湖の神輿は軽い、海に入ると面白いです。今は海の日にかわつちや祭りだ、昔は7月15日が何降り祭は本場に特別なことな

「一杯飲んで宮立ちを待ち、『どっこい！どっこい！』の掛け声で浜まどく、甘酒の祭りで宮人待っていて、階段前の神酒所が出来上がりちやって、救急車で自分なりに宮入したことがあるよ。若気のいたりだったね(笑)。」  
「それから、三年前に部落の祭り、飲みすぎちゃって、リヤカーで自宅に宮入したこともあるよ。」と笑ってお話を聞かせてくださいました。  
森さんの娘さんもお祭りが好き、お神輿が縁でご主人と結婚されたとか、茅ヶ崎で生まれ育った人にとっても、浜降り祭は本場に特別なことな

↑今年らいふの夏祭りで太鼓をたたいていただきました。



## Medical check

かゆみが気になる季節

### 日常生活で乾燥肌を防ぎましょう

背中、太もも、すね、腕などがかゆくなり夜眠れないということはありませんか？加齢と共に皮膚も老化します→角質層（皮膚の表面）の水分の低下→老人性乾皮症（肌がかさかさになりひび割れ神経が外からの刺激に敏感になります）→老人性皮膚掻痒症→かゆくて皮膚を掻く→皮脂欠乏性湿疹これが老人性皮膚掻痒症の成り立ちです。らいふ萩園の入浴場面でも皮膚の乾燥、痒み、掻き傷が見受けられるようになりました。

#### 乾燥肌対策のポイント

☆入浴時は刺激の強いナイロンなどはさけ綿などの柔らかい素材のもので洗いましょう。  
☆入浴後の保湿・肌が湿っているうちに保湿剤を塗る。入浴により皮脂が落ちてしまうため、風呂あがりの肌はほとんど乾いていき15分位で入浴前より乾燥してしまいます。保湿剤：白色ワセリン、馬油、つばき油等かゆみもおさえる保湿クリームがたくさん市販されています。  
☆クリームは乾いた皮膚に塗っても効果がありません。温かいタオルなどで拭いて湿らせてから塗りましょう。らいふ萩園にいらっしゃる日は、入浴セットに保湿クリームもお忘れなく！

## スタッフ紹介

らいふ萩園のスタッフを紹介！  
今回特にここに注目です。

お休みはどんなことをしていますか？  
マイブームを教えてください

ケアワーカー  
田中 千香子  
血液型：B型



出身地：茅ヶ崎市萩園  
お休みの過ごし方：友達や主人と、お出かけします。  
マイブーム：お笑い番組のビデオを見ることです。

私事ですが、12月20日、ついに入籍することになりました。名前も田中から坂井千香子に変わりました。今後ともよろしく願います。



光代

ぶちらいふ2006春  
にお便りを  
お待ちしております！

いつものちびたちが大変お世話になっております。



野乃花ちゃん(左)3才  
翔太くん(右)3才

■趣味のガーデニングで、お庭づくりのお手伝いができればと、らいふの花壇にお花を植えさせていたいただきました。パンジー、ヒオウチア、アリスサムなど、春に向けて華やかにいくお庭を眺めて楽しんでいただければと思います。いちおう、ちびたち

ちよっぴりお手伝いしました。今回はらいふ萩園がお休みの日に来たので、みなさまと遊んでいただけなかったのが残念でした。うちは妻の母が近くに住みますが、私の両親は京都で、そうそうは会えません。自分が小さいころ、父母には怒られることも、じいばは笑って見てくれました。それがとても嬉しく心やすらぐ思い出でした。じいばに微笑ましく見られることが、きっと子どもには必要なのだと感じています。やんちゃになるいつほつですが、また遊びに行きますのでぜひよろしくお願ひします。

(萩園・北徹也)

## 編集後記

■11月に茅ヶ崎サテーターで久ぶりに映画を観ました。タイトルは、『ALWAYS 三丁目の夕日』。すでにご覧になった方も多いかと思いますが、舞台は昭和三十三年の東京下町に集団就職で上京してきた六子(ろくちゃん)が鈴木家に住み込むところから始まります。いわゆる、古きよき時代の人間模様を繰り広げる人情ドラマです。建設中の東京タワーや、集団就職で上京する若者たちを乗せたD51、混雑した上野駅の風景

などがCGによって克明に再現され、画面いっぱい映し出された夕焼けの暖かい色が、観ている人たちをこの時代にタイムスリップさせてくれます。私が生まれた時代・・・皆さんは、まさか四十七年後こんな時代が来るとは思わなかったでしょう。今は物があふれて豊かになった？便利になった？でも、昔は人と人の距離が近く、温かかったように思っています。みなさんの生きた時代の話、もっともっと聞かせてください。お便り、ご意見お待ちしています。(編集部)



# らいふevent

らいふ秋園通信  
ふちらいふ



はやとりの絵  
この絵は、隣家に生った『はやとりの』です。らいふのお庭に面して蔓が沢山張っています。お隣の奥さんが、『手の届く実はとって食べていいわよ!』と言ってくださったので、ご好意にあまえて、わけてもらいました。

らいふはいつもイベント盛りだくさん。今回はらいふの行事をまとめて写真でご紹介します。



前回、ぶちらいふ秋号に寄せられた桑原幸雄さんの投稿、『デイサービスらいふ萩園一周年によせて』を掲載したところ、『お花見や中華街に出かけたなんて知らなかったわ!』『他にどんなことやっているのかおしえて?』など、ご家族から大変な反響がありました。

避難訓練  
9月27日



新潟地震・阪神淡路大震災は皆さんの記憶に新しいと思います。この時の教訓を踏まえて、災害から身を守るため、普段どのように備えているでしょうか。らいふでは9月27日、茅ヶ崎市の高齢者版防災パンフレットを配り、皆さんに防災意識を啓蒙するとともに避難訓練を行いました。この訓練で、私たちスタッフは、実際に災害が起きたときにどのようなことが予想されるか、初めて話し合うことができました。そして、デイサービスの提供中に大規模災害が起きたときを考え、必要となる水や非常食・救急用品、炊き出しセットなど最低限ですが準備することにしました。

『らいふでやっていることをもっと知りたい』という声におこたえして、らいふの行事を、写真を使って一挙に紹介することにしました。(このほかに、9月の敬老祭も日替わりでフラダンス・和太鼓・南京玉簾・マジック・大正琴・ハルモニカ演奏など盛大に行われました。)

園芸



らいふに集う方は、植物を育てるのが好きな方が多く、いつもお庭に季節の草花が咲いています。この日は、茅ヶ崎の福祉施設で植物とふれあいながらボランティアの育成などしておられる『NPO法人かてる湘南』の塩崎裕子さんが来てくださり、お花の寄せ植えや野菜作りを一緒に楽しみました。(一面に掲載した赤とうがらしの絵は、寄せ植えのときのものです。) また別の日に、チューリップの球根を30個植えました。春が楽しみです。



スポーツの秋、らいふでも紅白に分かれて大運動会を行いました。選手宣誓、仮装車椅子障害物競走、玉入れ、応援合戦など白熱した戦いに、スタッフも熱くなりました。

らいふの庭だより②

毎週木曜日に小林正さんが畑づくりを教えてくださいました。今回は、やせた土地に大根と白菜を植えてくださいました。12月に入り、大根も白首が見えてきました。そろそろ収穫して、お味噌汁とお漬物にしますので、乞うご期待

一般の人に混じっておしゃれなマリニールージュに乗船し、貸し切りのお部屋で食事をゆつくり楽しみました。さて、今度はどこに行きましようか!

横浜クルージング  
11月6日



初めての外出レクリエーション(4月の中華街)で自信をもったらいふでは、第2弾の外出レクを横浜クルージングランチと決め、ボランティアさんを含め総勢25名で出かけました。この日はちょっと寒かったですが、氷川丸が停泊している横浜公園は、ちょうどバラが満開で見ごろでした。

クリスマス会  
12月19~24日



2005年も残すところあとわずかです。最後のイベントはクリスマス会でした。去年は白雪姫の上演でしたが、今年はサンタとトナカイが音楽にのって登場し、ビンゴ大会を行いました。



今年一年、大変お世話になりました。2006年、皆さんの笑顔にたくさん出会えるよう、スタッフ一同頑張ります。新年もよろしくお願いいたします。

## 冬風

先の創刊号の「秋風」から早くも二ヶ月が経ち、木枯らしの吹く季節が来た。関東地方でも、筑波おろし、上州のカッパ風

など有名な冬に吹く風であるが、我々の住んでいる湘南には、大山おろし、箱根おろしといわれるような風はない。多少の西風が吹くが、これもここ湘南には夏だけなく、もうひとつのベスト・シーズンがある。それは冬晴れと富士山である。市内でも、富士の見える

ベスト・スポットはたくさんある。私のお気に入りのお気に入りのスポットは西浜から見る富士山である。らいふに来る途中、産業道路を横切つてすぐの西へ伸びた細い道路の真正面に道幅いっぱい富士山が見える所がある。わかつてはいても、雄大な富士が見えると、送迎車の内は「わあー」という

歓声に包まれる。朝、富士が見える朝一日いいことがあるような気がするから不思議だ。西風にあおられて、雲ひとつ無い大空に、たっぷりの雪の冠を頂いた富士の姿は涙がでるほど美しい。湘南の風は冬でも温かく爽やかである。だから、湘南地方には冬の厳しさは無い。それはそれで幸

せなことではあるが、ひとつだけ心配なことがある。わが人生も、生きやまも、いつの間にか「ひねもすのたりのたりのかな」となりはしないか、ということだ。だから、ときどきは、自ら求めて自分に刺激を与える工夫をせざるを得ない。 (井)